

2023年10月29日
10月第五主日礼拝式



「さあ手を打ち鳴らし」

(詩篇47:1 ネヘミヤ8:10)

さあ手をうちならし 主のみまえに行こう

この日は聖なる日 この日は聖なる日
主のみまえに行こう

天地を造られた 主のみまえで歌おう

この日は聖なる日 この日は聖なる日
主のみまえで歌おう

132 心静かに

心静かに 主のみことばを待つ

心静かに 主のみことばを待つ

うるわしい 主のみことば

したわしい 主のみことば

新聖歌251番 「主イエスの御側(みそば)に」

1 主イエスの御側(みそば)に かくれ家(が)あり
罪もいざないも 知ることなし

* 贖い主よ われをそこに かくまいたまえ み恵みもて

2 主イエスのみもとに やすみ場(ば)あり
荷をときおろして いこいを得(え)よ * (くりかえし)

3 主イエスのみもとに 慰めあり
うれいも悩みも 消え去るべし * (くりかえし)

4 主イエスは医者なり その御手(みて)もて
いかなる傷をも いやしたまわん * (くりかえし)

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌99番 「馬槽(まぶね)の中に」

- 1 馬槽(まぶね)の中に 産声(うぶごえ)上げ
木工(たくみ)の家に 人となりて 貧しき憂(うれ)い
生くる悩み つぶさになめし この人を見よ
- 2 食(しょく)するひまも うち忘れて
しいたげられし 人をたずね
友なき者の 友となりて 心くだきし この人を見よ
- 3 すべてのものを 与えしすえ 死のほか何も
報(むく)いられで 十字架の上に 上げられつつ
敵を赦(ゆる)しし この人を見よ

【次】

新聖歌99番 「馬槽(まぶね)の中に」

4 この人を見よ この人にぞ こよなき愛は
現われたる この人を見よ この人こそ
人となりたる 活(い)ける神なれ

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌62番 「天(あま)つみ民も」

天(あま)つ み民も

地にある者も

父 子 御霊(みたま)の神をたたえよ

神をたたえよ

アーメン